

災害への備え（平常時）

■患者ごとの指導

- ・通常診療の要点や注意点を記載
「健康手帳」や「お薬手帳」
- ・カルテの写し（患者用）
- ・「災害時対応ノート」（難病患者など）
- ・避難先を記載した紙を玄関先に貼る

■緊急時の連絡

- ・訪問診療患者リスト（地図も）
- ・連絡方法（覚え書き）

■災害用医薬品の準備・場所の確認

- ・救急医薬品と応急処置器材
（縫合セット・ガーゼ・包帯・ドレッシング類・テープ類・ディスポ手袋）
- ・注射や点滴（シリンジ・ルート・針も）

■事務用品セット（専用箱やバッグで準備）

- マジックペン・ボールペン・紙やノート・テープ類・ゼムクリップ・クリップボード

■車両

- ・規制除外車両事前届出済証の取得
- ・ガソリンの補充

訪問前の打ち合わせ

■担当エリア・訪問先

初回は

- 戸別訪問し、支援の必要な人を探す
- ・在宅避難者の住居を確認
- ・災害後に要支援となった人を抽出
- ・災害診療記録に記載開始

継続時は

- ・災害診療記録を使用
- ・訪問診療先を地図で確認

■安全のための申し合わせ

- 危険箇所はあるか？
- ガソリンはどこで補給？
- 飲料水・食事はどうする？
- トイレはどうする？
- 緊急時の連絡は？

訪問時の持ち物

災害診療記録

- 救急医薬品と応急処置器材
- 事務用品セット
- 住宅地図（訪問先の地図）
- リスト（訪問診療患者・要介護者）

在宅避難者のスクリーニング

■福祉避難所や病院に収容すべき人

- ・緊急医療手帳を所持する人（難病患者）
- ・医療機器使用継続が困難な状態にある人
- ・病院での対応が必要な傷病者
- ・状態不安定な災害時要援護者（災害弱者）

■訪問継続が必要な人

※継続的な訪問・処置・処方が必要な人

- ①一般の災害時要援護者（災害弱者）
＝二次トリアージ・PAT法の第4段階
高齢者、妊婦、旅行者、幼児、
基礎疾患（心・呼吸器・糖尿病・肝硬変・
透析・出血素因）
- ②発達障害や精神障害
- ③生活不活発病
- ④介護力の低下
- ⑤通院による処方処置が困難なケース
- ⑥その他

■支援物資や生活サポートの必要性

指定避難所（行政担当者）に報告する

訪問診療（投薬や処置）

■災害診療記録（by 日本救急医学会）

メディカルID：19950117M ナイカタロウ
とする
生年月日+性別（M/F）+カナ氏名

■チェック項目

①自覚症状

疼痛・脱水・食欲不振・不眠・感染兆候

②他覚所見

バイタルサイン：体温・血圧・脈・呼吸状態
皮膚：外傷・熱傷・褥創・広範な皮膚疾患
自覚症状に関する診察

③精神状態

不安焦燥・興奮・恐怖・無感情
喪失による悲嘆（心のケアが必要）

④投薬と処置

当座の臨時処置・処方、アドバイス、
処方切れ薬の補充手配

⑤特殊なニーズ

経管栄養や流動食・ストーマ管理
疼痛コントロール

他チーム・他職種との情報共有

①必要な医療物資の要請

流動食・経管栄養
ストーマ管理の物品
皮膚処置物品

②その他の支援要請

衣（衣服や防寒具）
食（水や食料）
住（住居の応急的な修繕・トイレ）
心のケアチーム
介護予防

③訪問した場所を記したマップを共有

（重複訪問の労力が避けられる）

④診療内容の記録と共有

災害診療記録（本部←→持ち出し）
申し送り会議（夕1回または朝夕）

⑤患者に伝えることの再確認

病名（状態）・処置や処方内容
（居場所を変える場合に備える）

訪問時に患者に伝えること

災害医療支援チームの

（氏名・職） _____ です

診断名（状態）は（なし・下記）

お渡しした薬は（なし・下記）

次回の訪問予定は _____ です
新たな不調は _____ に連絡を

覚え書き

災害医療対策本部： _____
本部連絡先： _____
コーディネーター： _____
所属支援チーム： _____
チーム連絡先： _____
リーダー名： _____
*担当エリアの
指定避難所： _____
福祉避難所： _____
救護所： _____
最寄りの医療機関： _____
医師名： _____